

光明小学校・末成小学校の学校統合に係る合同保護者説明会

会議概要

開催日時	令和8年(2026年)8月29日(土)17:00~18:00
開催場所	光明小学校 体育館
出席者	【光明小学校】校長、教頭 【末成小学校】校長、教頭 【教育委員会事務局】7人 【会場参加者】22人 【オンライン参加者】21人
次第・議事	1 開会 2 教育委員会事務局からの説明 3 意見交換 4 閉会
会議録(概要)	
事務局	【1 開会】 【2 教育委員会事務局からの説明】 これまでの経緯として、教育委員会では小学校の子どもたちにとってよりよい学習環境を確保していくかということと検討を進めてきた。今年3月以降、PTA・保護者・地域の皆様などに、教育委員会が学校統合を検討していることについて順次説明し、意見等を伺ってきた。当初は、それぞれの学校の状況が異なることから学校ごとに説明会を実施してきたが、統合時期をお伝えする段階になったため、今回合同で説明会の場を設けた。教育委員会から現在の検討状況を報告し、皆様からご意見を伺いたい。 資料1をご覧ください。 統合時期について、令和10年4月1日を統合の時期とし、この年度に向けて学校統合に必要な手続きを今後進めていく。 令和8年度は、具体的な予算や事務的方向性・課題について必要な準備を進める期間となる。 令和9年度は、具体的な統合準備や施設整備を進める期間となる。施設整備の一部は令和10年度に入り込むが、それについては後ほど説明する。 具体的な手続きや作業内容については令和8年度中に整理し、ロードマップ等でお示しできればと考えている。 次に、光明小学校・末成小学校の児童数の見込みについて、この表は令和8年度から令和11年度までの両校の児童数見込みを示したものである。 令和8年度は、末成小学校が児童数414人・通常の学級13学級・特別支援学級6学級の計19学級、光明小学校が児童数177人・通常の学級6学級・特別支援学級3学級の計9学級となる。 令和10年4月に統合すると、児童数617人・通常の学級19学級・特別支援学級10

事務局	学級の計29学級となる見込みである。なお、特別支援学級については実際にどれだけの子どもが入るか見通しが立てにくいため、令和8年度の実績値を令和9・10・11年度に同様に設定している。あくまで見込みの数字であり、今後の状況によっては変動の可能性もある。 次に、末成小学校における受け入れに向けた施設整備について、先ほどの推計のとおり、通常の学級で6教室、特別支援学級で4教室がさらに必要となる。スケジュールとしては、令和8年度の冬休みに末成小学校の壁のない部屋（オープンスペース）に壁を設置する工事を実施する。残りについては令和9年1月から7月にかけて設計作業を行い、どの部屋を普通教室にするかを検討する。 令和9年度の冬休みから3学期にかけて工事を実施し、令和10年4月1日に光明小学校の子どもたちが末成小学校に入学する際に見込まれる29教室の環境を整える。 令和10年度の夏休みに残りの一部教室を普通教室化する形となり、令和9・10年度の2か年にわたる工事となる。 統合に向けて想定される課題として、学校統合を進める場合、施設や児童数だけでなく様々な課題がある。子どもたちの人間関係や統合に対する不安、通学路や登下校の安全、学校行事やルールなど学校生活のあり方、PTA・育成会・地域の見守りや防災、特別教室や体育館などの施設利用等が挙げられる。こういった課題について、皆様からご意見を伺いたいと考えている。 これから決めていくこととして、通学路安全対策、統合前の両校の交流、学校生活・教育活動、施設整備、育成会のあり方、PTA・地域との繋がり・見守り・防災・地域活動などについて、保護者・地域・学校の皆様からご意見を伺いながら検討していく。本日いただくご意見は、今後の検討を進める上での重要な材料としたいと考えている。 以上が教育委員会事務局からの説明である。ご意見・ご質問等があればお願いしたい。 今説明があったように、学校統合のお話については今年3月ごろから、それぞれの学校のPTAの代表の方にお話をさせていただいたところから始まっていた。光明小学校のお子さんが少ないからということで、学校統合に向けて考えているというお話をしたところ、光明小学校の保護者の方々にとっては突然のお話であり、多くの方がショックを受けられ、最初は状況そのものを受け入れるにはお時間がかかったのだらうと思う。 その中でも、子どもたちの今後のことを考え、校長からも子どもたちへの様々な働きかけがあり、何とか地域・学校として、子どもの将来も含めて、光明地域として学校統合に向けて考えを改めていかなければならないということでスタートを切ることができた。 この思いは、進めていく過程の中で忘れてはならない大きな事柄だと思う。子どもたちの今後の集団・成長のあり方と併せて、それを支える保護者の皆様の思いもしっかりと受け止めながら、この統合の方向性・今後の取組についてしっかり考えていきたい。
-----	---

保護者 A	【3 意見交換】 前回6月の説明会にも参加したが、その際の質問に対するご返答がなかったため、追加で質問したい。 住んでいる場所の関係で良元小学校の方が近いということを前回お伝えした。校区再編にあたって、前回の中山台でも学校統合があった際に、中間地点あたりの子どもたちは学校を選べるということだったので、今回もそうなのかと思い前回お聞きしたところ、「検討中」とのご返答だった。問い合わせフォームにも状況を書き入れたが、それに対して何か進展や考えがあればお聞かせいただきたい。
事務局	そういったご意見については1件だけでなく他からも数件のご要望をいただいている。距離的な問題として幹線道路をどのように通行するかということもしっかりと考えていかなければならない。地域によっては良元小学校との地域性が強い集落もあるため、そうしたところはしっかりと地域の意見も聞きながら、校区のあり方、あるいは学校選択制を一部導入することも含めて検討している。 6月当時は「そうしたご意見があるなら考えていきましょうか」という意味でお伝えしたが、現在はそれをどのように実現していくかを検討しているところである。今後、できるだけ早期に一定の方向性をお示ししたいと思う。地域の実情に合った校区設定や通学環境を整えていきたいと考えている。
保護者 A	2点追加で質問がある。 1点目は、具体的にどのような案が出ているかお聞きできればと思う。もし具体的にお答えいただくのが難しいということであれば構わないが、どのような案があるのかお聞きしたい。 2点目は、登下校については基本的に保護者の責任で行うべき部分かと思う。認識が違っていれば申し訳ないが、もちろん見守りや PTA のルールはあると思うし、PTA が登下校の見守りを行っているのは、保護者の責任で登下校を見守ることが基本だからそうなっていると理解している。 登下校の問題を主な理由として、校区再編について「選べない」とか「こちらの方がいいのではないか」というのは、少し筋が違うのではないかと感じるが、その点についてどのようにお考えかお聞きしたい。
事務局	いただいたご意見の内容は、今おっしゃっていただいたものと同様である。仮に統合される学校の校区であっても選択制として良元小学校にも行けるようにしてほしい、あるいはその逆で、校区は良元小学校にしながらも統合する学校にも行けるようにしてほしいという、いずれの学校も選択できるようにしてほしいという両方の視点からのご意見が複数あった。取り組んでいかなければならないと思っており、通学距離に近いというような表現も使われていたことから、おそらくご近所の方々が同じお考えなのかなと感じている。し

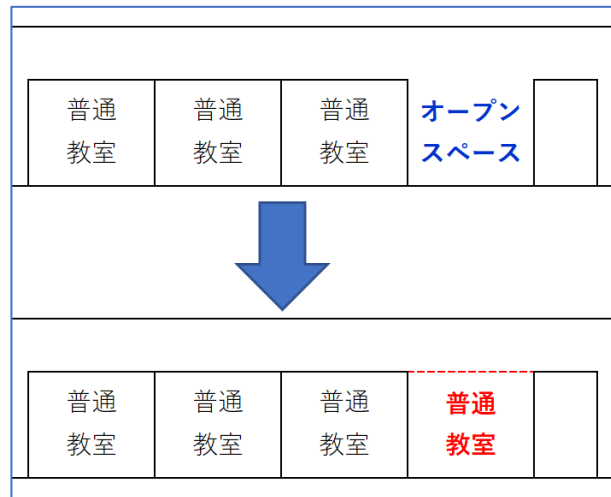
	っかり検討していきたい。 登下校については、確かに保護者の責任のもとで実施していくものであり、PTA の愛護部というものを設けて安全を担保しようという活動がされているのは確かである。 ただ、あえて危険な場所は極力避けるべきという考えから、幹線道路・踏切・大きな河川を境界とするということになっている。安全性についても、教育委員会だけで「これが危険、これが安全」と一方的に判断するのではなく、地域の意見もしっかり聞きながら判断が必要だと思う。例えば、きちんと整備された交差点に信号機があれば安全性は一定担保されるし、実際にいただいたご意見の中に「道路はそもそも危険なのか」というものもあった。行政としては道路は安全であるという立場があるため、特に整備された交差点があり、信号があり、歩道があって横断できる環境があれば、交通量等も関係するかもしれないが、安全性については地域の検証も含めて聞きながら判断が必要だと考えている。一方的に決めることなく、該当地域の方のご意見も聞きながら、選択制も含めてしっかりと取組を進めていきたいと考えている。
保護者 B	今回初めて参加する。今後、保護者の方々からの Q&A については順次発表していただく形になるかと思うが、実際に中山台の方で学校統合済みだと認識している。統合して、想定していなかった課題が出てきたことがあれば教えていただきたい。
事務局	概ね想定範囲内ではあったが、日々の生活の中で子どもの変化に気づいてさらに新たなことを想定していくような取組が、統合後の中山台小学校の中、特に教室の中で注意深く見ていこうという形で行われてきた。ある意味、想定外のことが起きるという前提で学校として取り組んできたおかげで、特に大きな問題には発展していないと聞いている。ただ、まだ数年しか経過していないところであるため、3年・4年経過したからもう問題はないとは考えず、今後も継続して注意深く見ていかなければならないと思っている。教員配置についても、そうしたことが十分に対応できるよう教育委員会としても努めていかなければならないと考えている。
保護者 C	前は参加できず資料を拝見しただけだったため、重複する点があるかもしれないが、順番に質問させていただく。 まず1点目として、中山台の統合に6年かかったと資料で拝見した。光明・末成の統合について、1年半後の令和10年4月1日でなければならない理由があればお聞かせいただきたい。
事務局	中山台の統合に6年かかったというのは、1つのテーマだけに取り組んだのではなく、まず幼稚園の閉園の問題、次に中学校の小規模化への対応として、隣の山手台中学校区の一部を校区選択制にし、希望する方は中山五月台中学校にも行けるようにした。最後に小学校の統合の話になったため、6年かかったということである。

保護者 C	ただ、小学校の統合が1年半で終わったかという決してそうではない。当初は統合するかどうかも含めて地域で考えてもらうという提案の方法だった。幼稚園の問題から議論が始まり、中学校も小学校も検討するという流れの中で、地域の中で全体的な少子化の問題が議論されてきた。中学校が宝塚市内で2番目に小さくなってしまったという状況もあり、まず中学校の対応を考え、並行して小学校も検討していきましょうということになった。小学校だけで言えば、実際に統合するまでは3年半から4年程度の時間を要したと思う。ただ、その間にコロナの影響で約1年、統合を先送りしたこともあった。 今回は、統合するという方向性を教育委員会としてあらかじめ一定決めたうえで地域にお話を進めてきたため、比較的短い期間で進んできた。今年3月からお話を始めたため、スタートから2年後に統合という形になる。周辺に他に統合できるような学校がなかったという事情もあり、地域と議論する材料が少なかったことから、この2年間を見て統合という話になった。 また、就学前の幼稚園・保育所に通っているお子さんの保護者から、「統合することが決まっているのであれば、1年だけ光明小学校に入ってから末成小学校に移るよりも、最初から移っておきたい」というご要望もあり、令和11年ではなく令和10年4月1日を統合の目標年度とした経緯がある。 1年だけ光明小学校に行かれるお子さんが「1年だけでは」ということはわかるが、光明小学校に在籍している最後の1年を過ごす子どもたちの時間はどうなるのかという話にもなってくると思う。同じ立場だと思つたため、その1年半が短くなった理由にはならないのではないかなと思うので、もう少し具体的なお話を聞きたい 今回示されたロードマップは施設の話のみかと思う。在校生の保護者として知りたいのは、4番・5番の課題についてである。具体的に何をいつまでに誰がどのように進めていくのかが全く明確でないまま、1年半後に統合ということになったとき、子どもにどのように説明すればよいか、学校がどのように進んでいくのかが全く見えない状態である。 今後、統合に向けて想定される課題やこれから決めていくことについて、具体的なロードマップをお示しいただきたい。前回の説明会でもロードマップを示すとのことだったが今回示されなかったため、誰がどこを担当し、学校の先生にはどこまでお願いするのか、教育委員会がどこまで関わるのかを具体的に知っておきたい。 教育課程の編成上、学校の教育目標や学校のあり方も光明と末成では異なる部分があると思うため、そのすり合わせをどの段階で・どの時期に・誰が行っていくのかを明確にお示しいただきたい。教育委員会では現在どこまで把握しているか、お聞かせいただきたい。
事務局	最も重要なのは学校自体がどうなっていくかということである。教育課程の問題や教育目標について、それぞれの学校が持つものを合わせていく作業が必要になるため、両校の管理職を含めた教員の中で、すでに協議をスタートしている。統合に向けてどうし

	ていくか、子どもたちを含めてどうしていくかという協議はすでに始まっており、できるだけ早期に両校が合同で何らかの活動を行うなど、統合したときに初めて顔を合わせることがないよう、交流も含めて令和10年4月1日に向けた取組を進めていく。取組の内容が固まれば、順次お知らせしていきたいと思う。 具体的な内容は各団体によって異なる。例えば PTA の統合に向けてどうするか、まち協の統合についてどうするかなど、それぞれ変わってくる。宝塚市・教育委員会の担当部署が各関係団体と統合に向けてサポート・調整していくことになる。その進捗については、関係者の会議でお知らせし調整するとともに、このような保護者説明会を開いて一般の保護者にも説明できる機会を今後確保していきたいと考えている。中山台小学校の事例なども参考にしながら、地域の方にご紹介しつつ取組を進めていきたいと考えている。
保護者 C	今後、ゼロから統合するということで、光明が吸収されるのではなく新設校として新しく作り上げていくことになると思う。1年半で時間が足りるのか不安に思っているため、わかっている段階で少しずつ情報をお出しいただけるとありがたい。 最後に、子どもたちへの説明と意見聴取、例えばアンケートを取るなどについて、どの段階で行われるつもりなのかが気になっている。すべてが決まった後で子どもたちに伝えるのでは、子どもたちが当事者であるにもかかわらず、今ある学校の良さや大切なものを引き継いでいくことが難しくなるのではないかと考える。光明小学校にも大切なものがたくさん受け継がれていると思うため、それをなくさない形で統廃合を進めていただきたい。子どもたちへの意見聴取や地域へのアンケートが教育委員会の主導で行われるのかどうか、お聞きしたい。
事務局	何をいつ・どんな方法で聞くかは非常に重要だと思う。特に子どもの場合、アンケートが良いのか、担任が聞く方が良いのか、グループで聞く方が良いのかについては、学校としっかり協議しながら、子どもに聞くべきことはしっかり聞いていかなければならないと思う。方法については内容によって適切な形を選び、学校と協議していきたい。 保護者・地域の方については、このような説明会のほか、意見フォームや、テーマが決まればそのテーマについてご意見をいただけるフォームをスマートフォンから入力できるような形も含め、対面と電子媒体の両方の方法でしっかりと意見を聞く機会を作っていきたいと思う。地域については、こまめに説明会や地域の会合に出向いて、ご意見を聞くべきところはしっかり聞き、ご説明すべきところは直接伺いたいと考えている。
保護者 C	今後ロードマップ等をお示しいただけるとのことなので、こまめにお出しいただければと思う。また、統廃合の担当者が学校の中からも校長先生以外にも出されるのではないかとと思うが、先生方の通常業務も続いていくため、人的配置をしっかりといただき、子どもたちの教育活動に影響がないようお願いしたい。子どもたちの意見や地域の様子を踏まえ、決して焦ることなくしっかりと土台を作って進めていただくことを望んでい

	る。以上である。
事務局	オンラインでもご質問をいただいているため、読み上げて回答していく。
事務局（質問読み上げ）	「子どもたちの交流のスケジュールは決まっていますか」というご質問である。
光明小学校長	スケジュールは決まっている。先ほどの保護者の方へのご説明も含めてお話しした方がわかりやすいと思うため、少し長くなるが説明する。 この夏休みに、各学校の校長・教頭・教育課程担当・研究推進担当・生活指導担当・特別支援コーディネーター・主幹教諭をコアメンバーとしたコア会議を開いた。その中で、まず子どもたちの実態を出し合うことから始め、未成小の子たちにとって「光明小の子たちが来る」というものではなく、2つの学校を閉じて1つの新しい学校をこの地域で作っていくということを、明後日の始業式で両校の校長がまず全校児童に話し、その後学級担任も話すことに決まっている。 どんな学校を作るかについては、先生たちだけで決めるのではなく、みんなで決めていこうというスタンスも決めた。そのことを意識しながら2学期3学期を過ごし、2学期の終わり、或いは3学期の初めには、子どもたちの代表委員会のような場で、地域の方がどこまで参加できるかは分からないが、新しい学校を作っていくということについて丁寧に進めていこうと思っている。進捗状況は各学校の学校だより等で子どもの様子として配信していきたいと思う。教育委員会がロードマップとして示すよりも、実践的な形での配信が丁寧にできればと考えている。 コア会議では、仲間づくりや関わり合いに重点を置いて、子どもの交流もしっかりやっていこうという話をした。このコア会議は夏休み中に実施し、全職員の会議は9月2日（水）14時から未成小学校で行う予定である。そこで教職員全体の意見がすり合わされ、具体的な内容が決まっていくと思う。 現時点で2学期の教育課程の中で決まっている交流についてお話しする。3年生と4年生の外国語活動でまず交流を始めようと思っている。3年生では英語を使ったお店屋さんの活動を単元活動があり、それぞれ1時間プラス20分休みも一緒に遊ぶことを通じて交流できればと思っている。 また、4年生には学校案内をする単元があるため、1月の光明小の図工展に合わせて未成小学校の4年生を招待し、できる限り英語でやりとりするという取組も考えている。 令和10年4月には現在の4年生が6年生（最高学年）になるため、そこからと思っている。ただ、5年生・6年生も学校づくりにしっかり参画させたいと考えており、そこも含めて話を進めていく予定である。 単なる遊びの交流ではなく、一緒に授業をする中で、スタイルや学ぶ意欲など、お互いの良いところを吸収し合いながら、数年後には同じ学級で学んでいくということを念頭に置いた良い学校づくりを意識させていきたいと思っている。以上である。

事務局（質問読み上げ）	2つ目の質問である。「末成小学校の教室に壁を作って3つの教室を作るということだが、狭くないのかと思った。基準通りの広さを確保できるのか。統合後、末成小学校の体育館や運動場など、人が増えたことでぎゅうぎゅうになり活動がしにくくなったり、学校用品が足りなくなったり、教育の質が下がるようなことがないようにしていただきたい」とのことである。
事務局	壁を作るというのは、もともと普通教室だったところの廊下と教室の境の壁を取り払ってフリースペースにしてきたという経緯がある。かつて末成小学校は1,800人を超える児童数があり、多くの教室を保有していたが、児童数が減ってきて空き教室が出てきたため、使い勝手の向上を目的にフリースペースを作ってきた。今後は児童数が増えてくるため、壁のある普通教室を作った方が学校運営上良いということで、壁を作って普通教室化をしていくものである。 フリースペースがなくなるのかというと、そうではない。この間、様々な活用方法で使ってきた教室を主たる理由を学習のためとして、学校・子どもたちのために戻していくとともに、改修工事も後に行うため、子どもたちが伸び伸びと生活するための空間も今後作っていききたいと思う。教室以外の余裕あるスペースも十分に確保していききたいと考えている。 用品等についても、予算化をしっかりと行い、今まで使えていたものが使えなくなるといったことがないよう取り組んでいききたいと思う。
保護者 D	今後はすべてにおいて末成小学校の保護者と光明小学校の保護者が合同で協議等を行っていただけるという認識でよい。 また、ロードマップでお示いただく内容についても、教室の配置図なども一緒に共有できるようにしていただきたい。末成小学校の保護者の方は新設校になるということをご存じなかったとも聞いたため、今後は共通の情報を同じ形でお伝えいただけるよう、この場で切にお願いしたい。
事務局	基本的には今後は合同を原則と考えている。ただ、それぞれの PTA で協議する際に教育委員会や関係部署が同席することはあっても、その結果については合同の会議の場で共通理解を図るという形で、基本的にはもう一つになったという前提で協議を進めていくべきだと考えている。
保護者 E	話が戻ってしまうが、末成小学校のフリースペースがどのようなものか存じ上げないため、ホワイトボードを使って具体的なイメージをお示しいただけないか。3部屋を2部屋にする、あるいは2部屋を3部屋にするというイメージしかなく、具体的なイメージがつかめない。



事務局

(ホワイトボードを使って説明) このように、現在通常使っている普通教室がある。そして同じ大きさの普通教室の壁を取り払って、現在オープンスペースにしている。そちらにもう一度壁を作って普通教室化するものであるため、普段使っている教室と全く同じサイズのスペースになる。

保護者 E

ありがとうございます。つまり、普通の部屋が1つ増えるだけのイメージでよいということか。

事務局

その通りである。末成小学校には3か所のオープンスペースがある。そのうち2か所について、廊下側の教室との境に壁を入れて2教室にする。3か所目のオープンスペースは相談室などの用途で使う予定である。

保護者 E

もう1点質問してよいか。来年、長女が光明小学校に入学する予定である。両親ともフルタイムで共働きをしており、学童について、光明小学校で学童に入った後、1年で末成小学校の学童に移るのか、入れるかどうかの心配もあるし、連携についてどうなるのかという疑問がある。決まっていることがあれば教えていただきたい。

事務局

放課後児童育成会、いわゆる学童保育だが、現在、光明小学校と末成小学校それぞれにある。例えば、来年4月に光明小学校に入学されて放課後児童育成会に入られた場合、翌年も前年度に申請があるため、そのまま移行することになる。入ることができるという前提になる。

また、できれば受入れ枠を増やす方向で現在検討している。統合したときに受け入れ枠が今の末成と光明の合計以上になるよう取組を進めている。統合直後は教室の確保状況によって制約があるかもしれないが、全改修工事が終われば待機児童対策として学級数を増やすことについて、子ども未来部と協議している。入っていた児童が退会しな

地域住民	ければならないようなことがないよう最大限努めていく。枠が狭くなることはない。 地域住民として参加している。光明小学校が統廃合になるということを先日知り、来春の4月1日からということを知っていたが、今伺いすると令和10年ということで、来々春なので少し安心というか、まだ子どもたちはいるのだという気持ちになった。 私は1979年に光明小学校が開校した際、1年生と3年生を持つ保護者であった。上の子どもは末成小学校から光明小学校に転校した。子どもたちを6年生まで見てきたとき、メンタル的に不安定なまま中学校に進学していった子どもがいたことが過去にあった。 申し上げたいのは、学習はもとより、メンタルケアが子どもたちの未来にとって大変大切だということである。児童を中心に、家庭・保護者・先生方・教育委員会の皆様が、メンタルを重点的に見ていただきたいというのが、この年代になって伝えたいことである。
事務局	今おっしゃっていただいたことは非常に重要だと思う。環境の変化は、想像していないところで子どもたちに異変をもたらすことも十分に想定される。担任だけの目では補いきれないところもあるため、継続的な対応が必要ではないかと思う。具体的な方策について今後しっかり検討していきたいと思う。
事務局	予定では19時までとしているが、他に質問はないか。 ～会場参加者から質問なし・オンライン参加者から質問なし～
事務局	【4 閉会】 それでは本日の説明会はこれで終わりとする。資料の2次元コードからご意見フォームにアクセスいただける。帰られてからご質問・ご意見があれば、こちらにお寄せいただきたい。いただいたご回答については Q&A としてホームページ等で公開するため、ご確認いただければと思う。 本日いただいたご意見については教育委員会で整理し、今後の検討に反映させていただく。 お忙しいところご参加いただき、ありがとうございました。引き続きよろしくお願いします。